

IIBC NEWSLETTER

July 2021 Vol. 143

Special Interview

中高生が身に付けておきたい英語力
と外部試験の活用法

p2 東京国際大学

言語コミュニケーション学部 教授
松本 茂氏

p3 慶應義塾中等部

英語科 教諭
江波戸 慎氏



松本 茂氏



江波戸 慎氏



英語がもたらした
私のターニングポイント

p4 アーティスト
鞠師 里保さん



English Frontline
災害時に外国人を
語学面でサポートする
東京都防災(語学)
ボランティア制度 p6



2020年 IIBC
AWARD OF
EXCELLENCE
p7

中高生が身に付けておきたい英語力 と外部試験の活用法

英語でのコミュニケーション能力が様々な分野で求められる中、未来を担う中高生たちは、今後のキャリア形成を考えた場合、どのような英語力を身に付けておけばいいのでしょうか。

本企画では、NHK ラジオ講座『中高生の基礎英語 in English』の監修などでも活躍されている、東京国際大学言語コミュニケーション学部教授の松本茂氏と、慶應義塾中等部で教鞭をとる英語科教諭の江波戸慎氏に話を伺いながら、中高生が身に付けておきたい英語力と外部試験の活用法について紹介いたします。

使える英語力が 将来の可能性を広げる

東京国際大学 言語コミュニケーション学部 教授
松本 茂氏

ますます必要になる使える英語力

ひと昔前まで、学校で学ぶ教科の1つと考えられていた英語は、グローバル化の進展に伴い、現在では、コミュニケーションの重要な媒体として捉えられています。また近年の小・中・高等学校の教育改革では、4技能を統合した英語コミュニケーション力の修得を掲げています。

「国際的な企業に就職する場合だけでなく、英語力があれば、どのような分野においても、様々な可能性が広がっていきます。キャリア形成を考える上でも、中高生の段階から、使える英語力を身に付けておくことが重要です」

こう語るのは、東京国際大学言語コミュニケーション学部教授の松本茂氏です。松本氏はこれまで、文部科学省の「英語教育の在り方に関する有識者会議」の委員や、全国高校英語ディベート連盟の副理事長などを歴任されています。

「従来の英語の授業の多くは教師主体で進められ、生徒は単語や文法を理解し、英文を日本語に訳すことが中心で、授業で取り上げた英文をそのまま定期試験に出していました。中学1

年生であればそれでも良いのですが、学年が上がるに従い、インプットとアウトプットのバランスがとれた授業を行い、定期試験の内容も見直す必要があると思っています」

英語の授業と一口にいても、担当教

師の英語教育観によって指導の方法や内容が異なることがあります。

「学校としてある程度統一した指導法を確立することが大切ですが、いずれにしても高等学校を卒業するまでに、大学や実社会において必要とされる英語力の礎を築くことです。理解できない単語が出てきたときに、文脈から類推し、論理的に答えを導き出す、というような、将来役立つ使える英語力を養っていくことが重要です」と松本氏。

また、英語力の向上には、他の科目で学んだテーマに関する英文を英語の授業に取り入れることも有効な方法です。

「例えば、生徒が自分たちの地域や世界各地の社会課題を調べ英語でプレゼンしたりするなど、“英語を使い何かをする”という授業を、もっと取り入れるべきだと思います」

外部試験で、英語力の伸びを測る

しかしながら、たとえ将来役に立つ英語力を養うための授業を取り入れ、生徒が使える英語力を身に付けようとしても、先述したような定期試験では、その能力を客観的に測定することができないという問題が生じます。

「定期試験の問題は、担当している教師がそれぞれ作成したものを合体させているので、出題者によってどうしても偏りが出てしまいます。大学では、英語力を客観的に測定するため、学生にTOEIC® Programを受験させるところが増えていますが、中学・高等学校でも、外部試験を取り入れることを検討されると良いと思います」

IIBCが提供している、英語学習初・中級者の英語4技能を測定するTOEIC Bridge® Testsは、中学校から大学に至るまで、幅広く活用されています。

「TOEIC Bridge® Testsは、どの設問も日常的なシーンが設定されています。いわゆる、ひっかけ問題もありませんし、特別な対策をしなくても、生徒が力を発揮できるテストだと思います。中学・高等学校が採用する外部試験の選択肢の1つとして評価できるでしょう」

また一方で、使える英語力を身に付けたいと思っても、日常生活で外国人と話すといった、アウトプットの機会が少ない生



徒にとって、学習意欲をどのように維持させていけばいいのかという問題もあります。

「TOEIC Bridge® Testsのような外部試験は、学習を振り返る材料になり、継続的に受験すれば、どれだけ力が付いてきているのかを知ることができます。客観的に自分の英語力を把握できるので、学習へのモチベーションの維持にもつながるでしょう。また、教員にとっては自分たちの授業を見直すきっかけになります。可能であれば年に2回、3学期制なら学期ごとの受験が理想的です」

実用的な英語力測定のために 外部試験を導入

慶應義塾中等部 英語科 教諭
江波戸 慎氏

基礎力をかため、英語4技能の向上を目指す

慶應義塾中等部は、慶應義塾の一貫教育校としての伝統を受け継ぎながら、中等部独自の英語教育を行っています。生徒の英語学習歴は様々で、入学して初めて英語に触れる生徒もいれば、慶應義塾幼稚舎(小学校)から内部進学した生徒は、小学1年生から6年生まで英語教育を受けています。また、生徒の中には英語圏からの帰国子女も在籍しています。

「本校は一般的な中高一貫校とは異なり、全員が同じ高等学校に進学するわけではないため、高等学校と連動したカリキュラムを組むことはありません。英語科としては、本校の生徒が、慶應義塾に5つあるどの高校に進学しても、問題なく授業についていける英語力とともに、一般社会に出て使える、実用的な英語力も養っていきたくて考えています」と語るのは、慶應義塾中等部英語科教諭の江波戸慎氏です。江波戸氏は2020年まで、慶應義塾大学外国語教育研究センターの副所長を務められていました。

同校の授業では、英語4技能の統合的な修得を目指し、英語Ⅰ、英語Ⅱ、英語Ⅲの3つを柱とするカリキュラムを導入しています。

英語Ⅰは、学習指導要領の指針に沿ったカリキュラムで、文法などを中心に英語の基礎力を身に付けます。

英語Ⅱは、ネイティブスピーカーの教員と日本人の教員のチームティーチングで、コミュニケーション力の修得を重視した授業を行います。生徒同士がペアになり、交互にスピーキングやリスニングを繰り返した後、ライティングやリーディングに発展させていきます。学習内容に応じて、1クラス42人の生徒を、複数のグループに分けて授業を行うこともあります。

「少人数教育を大事にしていますが、大人数で行ったほうが、学習効果が上がることもあります。教員ではなく、英語が得意

な生徒から学ぶ場面もよく見られ、多様な生徒がコミュニケーションを楽しみ、お互いに補い合いながら力を付けています」

英語Ⅲは、週に1時間、習熟度別クラスで行い、1年生は2レベル、2、3年生はBasic、Intermediate、Advancedの3レベルを設置しており、Advancedクラスは、ネイティブ教員による4技能統合型の授業を行っています。

英語力が上がった生徒はTOEIC Bridge® L&R IPテストスコアも向上

同校が、TOEIC Bridge® L&R IPテストを導入したのは2019年度からで、現在では、年に1度、2、3年生全員が受験しています。

「外部試験を導入したのは、生徒が一般社会で通用する英語力を、どの程度身に付けているのか測定するためです。また、様々な英語学習歴を持つ生徒がいる中、定期試験ではハイスコアが取れなくても、実用的なテストでは良い結果が出せるといった、隠れた力を発揮させてあげたいという思いもありました」

同校が導入へと踏み切る際、授業時間内に英語科教員だけで実施運営が可能で、将来的な4技能測定が可能であることが決め手になったそうです。

「TOEIC Bridge® L&R IPテストの問題内容は日常生活に結び付いた質の高い問題であったため、一般社会で通用する英語力を測ることができると思いました」

また、学校の定期試験に慣れている生徒たちにとって、外部試験を受けることは良い刺激となり、学習意欲の向上にもつながっていきます。

「外部試験を受けることによって、生徒は自分の弱点を把握するとともに、伸びている点も知ることができるため、学習を見直す良いきっかけになっています。また、TOEIC Bridge® L&R IPテストの導入から2年経過したので、伸長度の検証を行ったところ、英語力が向上している生徒は、テストのスコアも上がっており、適正に評価されていることが分かりました」

2年連続でスコアが最高点だった生徒もいるため、今後の課題は、ハイスコアをとった生徒へのフォローだといいます。

「TOEIC Bridge® L&R IPテストで一定以上のスコアをとった生徒には、TOEIC Bridge® S&W IPテストも受験できるようにするという次のステップを考えています。外部試験を活用することで、『将来、国際的な舞台上で活躍したい』と夢を抱く生徒たちを、応援していきたいと思っています」





英語がもたらした私のターニングポイント 第11回

英語を学んで気が付いた 人と向き合うことの大切さ

2015年にモーニング娘。を卒業し、
17歳で単身アメリカ(ニューヨーク市)に語学・ダンス留学した鞆師里保さん。
2年間の留学生活で気が付いたのは、自分のペースで会話すること、
そして、人と向き合いコミュニケーションすることの大切さだと言います。

●アーティスト
鞆師里保さん

Profile

さやし・りほ
1998年広島県生まれ。アクターズスクール広島にて幼少期からダンスを始める。2011年、12歳でモーニング娘。9期生としてデビュー。15年にモーニング娘。を卒業し、アメリカ・ニューヨーク市へ語学・ダンス留学。約2年間の留学を経て帰国。20年9月から芸能活動を再開し、ドラマや舞台、ミュージカルなど活躍の場をますます広げている。

●海外で英語を学びたいと思ったのは ニューヨーク公演がきっかけ

海外で英語とダンスを学びたいと思ったのは、2014年のモーニング娘。のニューヨーク公演がきっかけでした。そのとき、私は16歳。今でこそTOEIC® L&Rでスコア820点を保持していますが、当時の私は英語があまり得意ではなく、be動詞が入る位置も分からないというレベルでした。

ニューヨーク公演では、メンバー全員がそれぞれ英語のスピーチをしようということになり、事前に準備をし、何度も練習していました。それがいざ本番となると、緊張と興奮で覚えていたことが真っ白に。途中から日本語で話すしかなくなり、悔

しい思いをしました。また、ライブ後の握手会でも、現地のファンの方が簡単な英語を使って話しかけてくれたのに、“Thank you”としか返せませんでした。海外のファンの方と話すチャンスだったのにと後悔し、そこから湧き出た「海外で英語を勉強してみたい」という気持ちを、その場で現地のコーディネーターに打ち明けたところ、「今からやれば、間に合うよ」と言われたのです。

留学するためには、モーニング娘。を卒業しなければなりません。決断を下すにはとても悩みましたし、時間もかかりました。でも、このまま、大人になっていいのかな? 新しい世界を見てみたい、という思いが強くなり、留学を決意しました。

分かったふりをせず 何度も聞き返すことで克服

留学先ではまず、語学学校に通いました。レベル別のクラス編成で、私はビギナークラスに入り、易しい英語を繰り返し聞くことで“英語を聞き取る耳”を養っていきました。学校に通い始めた頃は、英語が聞き取れず、また分からない言葉があっても、聞き返すこともできなくて、落ち込んでばかりでした。分かったふりをして、相手に迷惑をかけてしまったこともあり、「このままではいけない。分からないことは、きちんと確認しなくては」と気付いたのです。それからは、理解できない言葉があったら、分かるまで聞き返すように心掛け、よく使う言い回しはノートに書きとめて、すぐに口に出せるようにしました。

気持ちに余裕ができたのは、留学して3カ月ほどが経った頃。相手に分かりやすい言葉で話してもらえば、込み入った話もできるようになっていました。

語学学校に通っている間はホームステイをしていましたが、その家を出るとき、ホストファミリーから「この家に来たばかりの頃のあなたの英語はとんちんかんだったよね」と言われました。当時の私は、Whatで始まる質問にも、いつも“Yes!”と答えていたとか……。でも、今はこういう話もできるのだから、英語がちゃんと身に付いたんだな、とうれしくなりました。

1年間で語学学習を修了し、ダンスレッスンに通い始めた頃には、高度な英語力ではないけれど、ダンスを習うのに困らないレベルになっていたと思います。語学学校で学んだのは、日常生活に関する英語でしたが、ダンスの先生が使うのは、体の動きに関する言葉が中心で、シチュエーションによって、英語の使い方や意味も変わるのだと実感しました。

留学をとおして、人と向き合い コミュニケーションすることの大切さに気付く

英語でコミュニケーションする上で私が大事にしているのは、自分のペースを守ること。英語力へのコンプレックスを感じながら話していると、焦って余計に言葉が出なくなるし、相手も困惑します。でも、事前に「ゆっくり話してほしい」などと伝えておけば、お互いに楽しい時間が過ごせるのです。

こうしたコミュニケーションの大切さは、日本語でも同じ。そう気付いたのは、自分のラジオ番組でゲストを迎えたときでした。番組では、普段なかなかお会いできないミュージシャンの方や俳優の方などを招いてトークしますが、「あなたのことをよく知りたいので、教えてください」という姿勢で語りかけることで、相手も心を開いてくれて、理解が深まっていくと感じています。

留学する前の私は、人とのコミュニケーションに苦手意識がありました。留学をとおして学んだのは英語だけではなく、人と向き合ってコミュニケーションすることの大切さなのではないかと、今は思っています。

一方で帰国後、日本での生活が長くなると、英語を使う機会



ニューヨークではミュージカル観劇にも赴き、現地の芸術文化に触れた

が少なくなるため、だんだん自分の英語力が落ちていくのを感じています。海外の方とコミュニケーションするために英語力は欠かせないので、それを維持する、自分なりの勉強法を模索中です。

YouTubeで、英語圏の人のライフスタイル関連の動画を見るのもその1つ。例えば、同じことを言っているけど、言葉の使い方が、人や国籍によって異なります。ジャンルを絞って、色々な人の動画を見比べることは、英語のボキャブラリーを増やすために最適だと感じています。

そして何より、もっと英語を勉強しようというモチベーションになっているのは、ニューヨークでできた友人の存在です。帰国してからもずっと連絡を取り合っている、かけがえのない存在で、留学で得た一番の財産だと思っています。

今後は、歌やお芝居などの仕事をしていながら、人との出会いをさらに大切にしたいと考えています。できれば、海外のファンの方にも会いに行きたいですし、国際的に活躍されている、様々な職業の人と話をすることで視野を広げたい。

さらに、私が今も継続的に英語を学習していること、そして「英語の勉強はもっと楽しくできるよ」というメッセージを、若い人たちに伝えていけたらと願っています。



街の人との交流も印象に残っていると鞠師さん。写真はタイムスクエアにお出かけしたとき

災害時に外国人を語学面でサポートする 東京都防災(語学)ボランティア制度

避難所などで外国人に寄り添い 不安を解消する

国内で最も在留外国人が多い東京都には、184の国・地域から来た55万人ほどの外国人が暮らしています。日本語でのコミュニケーションが難しい方や、災害の少ない国・地域で育った方もいるため、災害発生時には、英語など語学面での支援が必要になります。

東京都では、1995年に発生した阪神・淡路大震災で、ボランティアが復興の一翼を担ったことに教訓を得て、同年、ボランティア制度を発足。当時、東京都にはすでに多くの外国人が在住していたことから、災害時に語学面で外国人を支援することも必要だと考え、翌年に東京都防災(語学)ボランティア制度を設置しました。

この制度でボランティアに登録するには、一定の語学力(英語の場合、TOEIC® Listening & Reading Test 730点以上など)が必要となります。2021年4月時点で、英語のボランティアには426名の登録者があり、災害発生時には、東京都が発信する災害情報の翻訳や、避難所などにおいて外国人被災者の

通訳に携わります。東京都生活文化局都民生活部多文化共生推進担当課長の齊藤寛人氏は、「ボランティアの主な役割は、避難所などで外国人に寄り添い、彼らの母語や、英語などの通じる言語で今の状況を伝えたり、疑問に答えたりして、不安を解消することです」と語ります。

実際に災害が発生した場合、災害対策本部と同時に立ちあがる「外国人災害時情報センター」がボランティアの派遣を担います。都内の各自治体から寄せられる、語学ボランティアの派遣要請と、ボランティアの方の派遣可否の情報をマッチングすることで、外国人の支援につなげるのです。19年に発生した令和元年東日本台風の際には、外国人向けに発信する情報の翻訳をボランティアが迅速に行い、外国人へ正しい情報を伝えることに貢献しました。



「外国人のための防災訓練」の様子。防災(語学)ボランティアは会場全体の案内などに携わった

平常時の研修と防災訓練で 災害時対応を学ぶとともに語学力を磨く

平常時には、語学力を磨くとともに災害発生時の対応を学ぶ研修や訓練も行っています。年3～6回程度の研修では演習を中心に、外国人とのコミュニケーションにおけるスキルや心構えなどを習得するといった、多岐にわたる内容を学びます。

また、年1回実施している「外国人のための防災訓練」は、ボランティアの方にとって重要な、語学力と災害時の対応力を高める場となっています。訓練では、ボランティアの方が、外国人参加者の案内と通訳に従事。例えば、外国人参加者が起震車体験などを行う場合、事前にその趣旨を英語などで説明し、体験後に感想を聞き取ったりすることで、参加者に寄り添いながら、防災の大切さを伝えていきます。他にも、展示ブースで出展者との通訳を行うなど、実践的な語学力を身に付けていきます。

20年度はコロナ禍により、訓練や対面研修ができなかったため、オンライン研修として、「多文化共生の視点から考える地域防災—防災語学ボランティアに求められる心構え—」をテーマに講演などを行いました。

しかし、研修や訓練だけでは実践の機会が限られているため、今後の課題は「ボランティアの方の語学力の維持向上につながるよう、平常時に、ボランティアが語学力を生かすことができる場を拡充することです」と齊藤氏。最近では、都立高校に通う外国人の保護者面談をはじめ、都内で通訳が必要な場面に、ボランティアの登録者を派遣するという取り組みを少しずつ始めているそうです。

災害時に、外国人を語学面で支える東京都防災(語学)ボランティア。いざというときに備えるための取り組みが、日々進められています。



東京都生活文化局都民生活部多文化共生推進担当課長の齊藤寛人氏

2020年 IIBC AWARD OF EXCELLENCE

基準スコアを取得した213名の受験者を表彰

IIBCは毎年、「聞く」「読む」「話す」「書く」の英語4技能を測る TOEIC® Tests (TOEIC® L&R、TOEIC® S&Wの総称)の公開テストで、基準のスコアを取得された受験者を表彰し、表彰状「IIBC AWARD OF EXCELLENCE」をお贈りしています。5回目を迎えた2020年は、213名の方が受賞しました。

対象となるのは、1～12月の間に、TOEIC® L&Rで800点以上(リスニング375点以上かつリーディング425点以上)、TOEIC® S&Wのスピーキングで160点以上かつライティングで170点以上を取得した受験者です。このスコアを取得している方の割合は、20年の受験者数のうち、TOEIC® L&Rで5%、TOEIC® S&Wで8%となっています。

これからもIIBCは、英語4技能をバランス良く学び、コミュ

ニケーションツールとして積極的に英語を活用している受験者の皆さんを応援してまいります。



受賞者には表彰状と記念品を贈呈

2020年 IIBC AWARD OF EXCELLENCE 受賞者ってどんな人？

2020年IIBC AWARD OF EXCELLENCEを受賞された皆さんにアンケートを実施し、97名の方からご回答いただきました。IIBC公式サイトにアンケート結果を掲載しています。その一部を抜粋してご紹介します。

IIBC公式サイトに掲載中！



受賞者アンケート結果の完全版はこちら



2020年受賞者のインタビューはこちら



01 受賞者全体の内訳

受賞者の性別



受賞者の年代



05 英語学習を英単語で表すと？



06 TOEIC® Listening & Reading Test について

受験回数



良いところ



※データは小数点第2位を四捨五入して表記しているため、合計が100%にならない場合がある

公開テストスケジュール

公開テストスケジュールは変更されることがございますので、最新の情報は公式サイトでご確認ください。

TOEIC® Listening & Reading Test



回数	試験日	申込期間 ^{※1}	結果発送予定日
第278回	2021年10月3日(日)午前	2021年8月12日(木)～2021年8月16日(月)	2021年11月2日(火)
第279回	2021年10月3日(日)午後	2021年8月19日(木)～2021年8月23日(月)	2021年11月2日(火)
第280回	2021年10月24日(日)午前	2021年9月2日(木)～2021年9月6日(月)	2021年11月22日(月)
第281回	2021年10月24日(日)午後	2021年9月9日(木)～2021年9月13日(月)	2021年11月22日(月)

TOEIC® Speaking & Writing Tests

TOEIC® Speaking Test



試験日	申込期間 ^{※1}	結果発送予定日
2021年10月10日(日)	2021年8月20日(金)～2021年9月24日(金)	2021年11月9日(火)
2021年11月7日(日)	2021年9月24日(金)～2021年10月22日(金)	2021年12月7日(火)

TOEIC Bridge® Listening & Reading Tests



回数	試験日	申込期間 ^{※1}	結果発送予定日
第80回	2021年9月5日(日)	2021年5月24日(月)～2021年8月5日(木)	2021年10月8日(金)
第81回	2021年11月14日(日)	2021年8月9日(月)～2021年10月14日(木)	2021年12月17日(金)

TOEIC Bridge® Speaking & Writing Tests



試験日	申込期間 ^{※1}	結果発送予定日
2021年9月26日(日)	2021年6月11日(金)～2021年9月10日(金)	2021年10月29日(金)
2021年11月21日(日)	2021年9月10日(金)～2021年11月5日(金)	2021年12月24日(金)

*上記は個人でお申し込みいただく際の申込期間です。団体一括試験申込期間 (TOEIC® Speaking Testを除く) は公式サイトでご確認ください。
(※1) 申込開始および締切時間については公式サイトでご確認ください。

本誌は公式サイトでもご覧いただけます。

https://www.iibc-global.org/iibc/activity/iibc_newsletter.html

IIBC NEWSLETTER

検索



IIBC 世界は、あなたでつながる。

一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会
The Institute for International Business Communication

IIBC公式サイト <https://www.iibc-global.org>

【お問い合わせ】

東京

名古屋事業所

大阪事業所

東京都千代田区永田町2-14-2 山王グランドビル

愛知県名古屋市中区錦2-4-3 錦パークビル

大阪府大阪市中央区博労町3-6-1 御堂筋エスジービル

TEL.03-5521-5901

TEL.052-220-0282

TEL.06-6258-0222